

令和7年度板橋区立アートギャラリー指定管理者及び  
管理運営業務に係る評価結果について

1 指定管理者

- (1) 名称 株式会社図書館流通センター
- (2) 所在地 文京区大塚三丁目1番1号
- (3) 指定期間 令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

2 施設概要

- (1) 施設名 板橋区立アートギャラリー
- (2) 所在地 板橋区成増三丁目13番1号
- (3) 開設時期 平成9年9月1日
- (4) 設置目的 区民のための美術の振興を図り、文化の向上に資する。
- (5) 建物概要 敷地面積 617.82㎡ 延床面積 322.05㎡ 鉄筋コンクリート造  
地上8階、地下2階の3階部分  
ギャラリーA 86.1㎡ ギャラリーB 76.3㎡  
ギャラリーC 38.1㎡

3 事業内容

- (1) アートギャラリーの利用に関すること
- (2) アートギャラリーの施設、設備の維持管理に関すること
- (3) その他、アートギャラリーの管理運営に関し区長が必要と認める業務

4 評価概要

- (1) 目的 アートギャラリーについて、効率的な運営やサービス水準の維持・向上など、指定管理者制度の導入目的に則り適切に運営されているかどうかを現地調査等を行い評価・検証する。
- (2) 評価者 板橋区立アートギャラリー指定管理者評価委員会
- (3) 委員構成 5名（外部委員2名、区職員3名）
- (4) 開催日 令和7年8月8日（金） 第1回評価委員会 現地調査及びヒアリング  
令和7年10月29日（水） 第2回評価委員会 総合評価

5 評価項目

- (1) 施設の経営方針に関する事項
- (2) 行動規範に関する事項
- (3) 管理体制に関する事項
- (4) 管理活動に関する事項
- (5) 業務改善に関する事項

※指定管理者の財務状況及び現場従業員の労働条件は、中央図書館が行った(株)図書館流通センターの点検結果を参考として審査した。

## 6 評価方法

評価委員会で決定した評価シートに基づき、現地調査及びヒアリング等により、各委員が評価項目ごとに5段階で評価・採点を行い、各委員の採点の合計により総合評価とする。

〔評価項目ごとの個別評価の目安〕

- 5点・・・特に優れている（区の要求水準を上回る成果を出している）
- 4点・・・優れている（区の要求水準どおりの成果を出している）
- 3点・・・適正である（区の要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある）
- 2点・・・やや劣る（区の要求水準を満たしていない）
- 1点・・・劣る（区の要求水準を著しく下回っている）

〔総合評価基準〕

A 特に優れている	合計点810点以上	(900点満点の90%以上)
B 優れている	合計点720点～809点	(900点満点の80%以上)
C 適正である	合計点540点～719点	(900点満点の60%以上)
D やや劣る	合計点360点～539点	(900点満点の40%以上)
E 劣る	合計点359点以下	(900点満点の40%未満)

## 7 評価結果

評価点：737.0点 ※詳細は別紙「指定管理者評価シート」のとおり

評価：優れている 得点率81.9%

# 指定管理者評価シート

(別紙)

## 施設概要

施設名称	成増アートギャラリー	所在地	板橋区成増三丁目13番1号アリエス3階
所管課名	区民文化部文化・国際交流課	指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日
指定管理者名	株式会社 図書館流通センター	指定管理者の所在地	文京区大塚三丁目1番1号
設置目的	区民のための美術の振興を図り、文化の向上に資することを目的に、文化・国際交流課が必要と認める事業を実施する。		
基本理念	①アートギャラリーサービスの維持向上、②図書館、美術館等と連携取り組み等を実施し、情報発信及び「利用者に寄り添う身近なギャラリー」を目指す。		
行動規範	板橋区立アートギャラリー条例、その他関係法令・マニュアル等を遵守し、公平なサービスの提供と利用者の増加を目指し、なお一層、区民サービスの質の向上を実現する。		
業務内容	1 創作作品の発表の場の提供 2 施設、設備及び物品の維持管理に関する業務 3 その他施設の目的を達成するために必要な業務		

## 評価結果

評価結果

評価項目	評価の視点		評価委員合計	
【施設の経営方針に関する事項】				
1 施設の現状認識・取り巻く環境の理解・管理運営の方向性				
施設の設置目的や基本理念、行動規範などを踏まえた現状認識並びに経営方針を確立しているか			20点 / 25点	
2 経営方針に基づく具体的な行動				
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	利用率の向上	観覧者数	目標15,000人 実績12,507人	15点 / 25点
		開催日数	目標231日 実績206日	15点 / 25点
		開催率	目標67% 実績59.7%	15点 / 25点
		利用率	目標52% 実績38.9%	15点 / 25点
		継続利用率	目標72% 実績84.1%	24点 / 25点
		新規申込数	目標23組 実績11組	6点 / 25点
		大学・文化連加盟団体利用数	目標6組 実績5組	15点 / 25点
基本理念の達成に向けて、経営方針に基づく具体的な目標や取組、サービス水準を設定し、業務に取り組んでいるか	サービスの維持向上	受付・案内	目標135回 実績115回	15点 / 25点
		情報発信回数	目標220回 実績222回	24点 / 25点
		利用者満足度	目標91% 実績92.1%	24点 / 25点
		継続利用希望率	目標98% 実績95.2%	20点 / 25点
	特色あるギャラリー	図書館との連携	目標9回 実績8回	16点 / 25点
		美術館との連携	目標2回 実績2回	23点 / 25点
小計			247点 / 350点 (70.6%)	

評価項目	評価の視点	評価委員合計
<b>【行動規範に関する事項】</b>		
法令遵守	法令、区条例、区規則、その他区が定める規程及び協定書に則り、信義に従い誠実に対応しているか	21点 / 25点
暴力団等の排除	暴力団等の排除について適切に対応しているか	22点 / 25点
平等な利用の確保	特定の団体や個人に偏ることなく、平等な利用実態となっているか	21点 / 25点
ノーマライゼーション	障がい者や高齢者等に配慮した運営となっているか	22点 / 25点
小計		86点 / 100点 (86.0%)
<b>【管理体制に関する事項】</b>		
職員の雇用形態	施設運営に責任の担える安定的な雇用形態となっているか	24点 / 25点
職員の労働条件	労働法規等を遵守した適正な勤務体制となっているか、職務能力等に対応した適正な給与体系が整っているか、休暇制度や職場環境の改善、福利厚生制度等就業状況に配慮がなされているか	23点 / 25点
職員の配置体制	適正な職員配置となっているか	23点 / 25点
職員の専門性	必要な専門性を備えた職員が配置されているか	21点 / 25点
職員の研修体制	職員の指導育成、研修体制は適切であるか	25点 / 25点
危機管理体制	事故・災害などに対する綿密な危機管理体制が整っているか、BCPや災害対応マニュアルの内容は適切であるか	23点 / 25点
安全対策	利用者の安全についてきめ細かい対策がとられているか	22点 / 25点
情報管理	個人情報の保護等に関する指導の徹底など、対策は万全か	21点 / 25点
地域貢献	区内事業者の活用、区民の雇用など地域への貢献、地域との連携への配慮がなされているか	23点 / 25点
小計		205点 / 225点 (91.1%)
<b>【管理活動に関する事項】</b>		
経済性・効率性	費用対効果は適切か、当初の目標どおり管理運営経費が縮減されているか	23点 / 25点
妥当性	管理運営経費は、その内訳を含め妥当であり、適正に執行されているか	21点 / 25点
設備の保守点検	設備機能の維持に向けた保守点検は適切であるか	23点 / 25点
委託業務の妥当性	委託されている業務の範囲は適切であるか	23点 / 25点
備品の管理	備品の機能維持に向けた保守点検等は適切になされているか、購入備品の登録手続きに遺漏はないか	22点 / 25点
環境対策	区の環境施策を理解し、省エネ、省資源など地球環境に配慮した管理運営がなされているか	22点 / 25点
施設の利用促進	施設の利用促進のため、積極的な広報活動に取り組んでいるか	23点 / 25点
小計		157点 / 175点 (89.7%)

評価項目	評価の視点	評価委員合計
【業務改善に関する事項】		
アンケート結果への対応	利用者アンケートの結果を踏まえた対応は適切か	21点 / 25点
要望への対応	利用者からの苦情や要望等を把握する取組はなされているか、その対応は迅速かつ的確か	21点 / 25点
小計		42点 / 50点 (84.0%)
合計		737点 / 900点 (81.9%)

＊サービス水準の採点方法

(5点：達成率100%以上、4点：達成率90%以上100%未満、3点：達成率70%以上90%未満、2点：達成率50%以上70%未満、1点：達成率50%未満)

＊管理運営等の採点方法

(5点：要求水準を上回る成果を出している、4点：要求水準どおりの成果を出している、3点：要求水準を概ね満たしているが、工夫の余地がある、2点：要求水準を満たしていない、1点：要求水準を著しく下回っている)

評価委員会評価	経営基盤に関する評価（中間年）	安定的な管理運営を行える経営基盤を有しているか 【財務諸表審査の5段階評価において3以上「○」、2以下「×」】	○
	総合評価	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清潔感があり立地もよく、設備もきちんとしていて、利用者が満足されていることがよくわかった。アンケートにも対処している点も高く評価する（ライトなど）。</li> <li>・継続利用が多いことから、利用者の満足度が高いことがわかる。場所がわかりにくい点については、図書館の利用者や駅に案内を出すことによってPRを行っており、今後も継続して行ってほしい。併設する成増図書館でも美術に関する図書を多く展示するなど、工夫が見られる。</li> <li>・継続利用率、満足度については、目標を上回る状況が確認できる。新規申込者については、目標を大きく下回っているものの、積極的な情報発信に対して評価できる。情報発信はさらに向上できる可能性があり、取組に期待する。</li> <li>・司書資格の保有者が6割となっており、今後も増えることを期待する。</li> </ul>	
	優れている	<p>【改善すべき点】</p> <p>[助言]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常設で図書館の蔵書の展示ができず、ギャラリーの利用者がいない時期は施設が稼働していないので、図書館の来館者増加にもつながる施設の活用が工夫できると良い。</li> <li>・室温が高かったという利用者の声に対しては、改善が必要。</li> <li>・継続利用者による口コミ等での利用者拡大も考えてほしい。</li> <li>・サービス水準の目標値については、実績値や取り巻く状況を踏まえて、見直しの必要性も検討してほしい（受付・案内、美術館との連携など）。</li> <li>・危機管理体制について、天災が増えている昨今、実災害を想定した対応を図書館と共有し、携えてほしい。</li> <li>・ホームページや館内掲示などで利用者がアンケートの内容を見られる工夫が必要ではないか。</li> </ul> <p>[指導]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申込数が目標値23組に対し実績値11組と、5割を下回っている状況である。継続利用率、利用者満足度、継続利用希望率とも高水準であることに鑑みると、新規申込者獲得が開催率・利用率の向上につながることから、図書館の指定管理業務を幅広く行っている事業者としてのネットワークの強みを生かしながら、新たな方策にも取り組むこと。併せて、現在の目標設定が「アーティストバンクいたばし」の登録者に対する施設使用料助成があった令和3年度・4年度の実績を踏まえたものであることから、現状に即した目標に補正する必要性も検討すること。</li> </ul> <p>[勧告]</p> <p>[命令]</p>	

＊総合評価の採点方法…特に優れている（9割以上）、優れている（8割以上）、適正である（6割以上）、やや劣る（4割以上）、劣る（4割未満）